

## 「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



### テーマ

Theme

「森林の働きを知ろう」

### 学校・園名

School name

草津市立常盤小学校（4年生）

### 講師等

Lecturer etc.

滋賀県琵琶湖環境部  
森林保全課/森林政策課

### 実施日

Date

平成24年6月21日

### 教科等

Subject etc.

総合的な学習の時間

### 授業

Class

滋賀県の面積のうち、ほぼ半分が森林です。森林には、災害を防ぐ、水をためる、地球の温暖化防止…など様々なはたらきがあります。滋賀県の小学4年生は、「やまのこ」という体験的な森林環境の学習を行います。その事前学習として、今回は、主に災害と森林の関係について学習しました。

森林を適切に保つためには、間伐（かんばつ…こみあった木を抜き切りし、すかしてやる作業）をする必要があります。間伐をして残した木は、枝葉がしっかりと元気に育ち、幹が太く強くなり、光が地面まで届くので、草や小さな木もいっぱい生え、健全な森林になります。すると、風害や雪害、台風や大雨のときの土砂崩れなどの災害を受けにくくなります。すでに土砂がたまっていたり、山が崩れそうなきなどは、ダムをつくって土砂や水が急に流れ出さない仕組みで危険が回避できることを、立体模型を使ってわかりやすく説明していただきました。模型で実際に見ると、健全な森林とそうでない森林の災害の受け方の違いが、とてもよくわかりました。



### 感想

Impression

#### 児童より Impression from Children

- 話だけではなく模型を使って実際に見えるようにしてもらったので、よくわかりました。
- これからも土砂崩れがないように、みんなに知ってもらって、日本や地球を安全にしたいです。
- 山の手入れをしていかないと土砂崩れなどが起きてしまうと、森が大切なんだということが、今日わかりました。そんなことも知らずに、山の川などに近づいて家族を傷つけないようにしたいです。
- 「がんばれフクロウくん」の模型で、土砂崩れで橋のこわれる様子を見て、多くの犠牲者が出ることもあるので気をつけたいと思いました。
- 山崩れは、大雨や台風の影響で起こるということがわかったので、とても勉強になりました。
- 山を整備しないと、大雨などで、土砂崩れが起きるとということが、わかりました。

#### 学校より Impression from school

本格的にお話をしてくださり、教員も良い学習をさせていただきました。子どもたちは、模型やクイズなどですごく興味を持って楽しく学習していたように思います。

#### 講師より Impression from lecturer

学校と直接連絡をとり、打ち合わせ、場所、機材の準備等を電話、FAXにてスムーズに行えました。学校にスクリーン、雛壇など機材を準備していただき段取りよく授業が行えました。

支援センターに出前講座の要望等があった場合に、連絡先を事業課に連絡し、直接事業課が学校と連絡をとり事業を行うことが連絡の取り違い等が無くスムーズに行うことが出来ると思いました。

児童たちへ…今回の出前講座で、1つでも覚えてもらえたり感動してもらえると幸いです。